

観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例（平成24年観音寺市条例第31号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(許可の申請)

第2条 条例第2条第1項の許可を受けようとする者は、風致地区内行為許可申請書（第1号様式）に説明書（第2号様式）、別表第1に掲げる図面等その他市長が必要と認める書類を添付して、市長に提出しなければならない。

(独立行政法人その他の法人)

第3条 条例第2条第2項の規則で定める独立行政法人その他の法人は、次に掲げる者とする。

- (1) 独立行政法人都市再生機構
- (2) 独立行政法人森林総合研究所
- (3) 独立行政法人労働者健康福祉機構
- (4) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- (5) 独立行政法人水資源機構
- (6) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- (7) 独立行政法人環境再生保全機構
- (8) 独立行政法人中小企業基盤整備機構

(標識の設置)

第4条 条例第2条第1項の許可を受けた者は、当該許可に係る行為を行う期間中当該行為地内の見やすい場所に風致地区内行為許可標識（第3号様式）を設置しなければならない。

(行為の中止等の届出)

第5条 条例第2条第1項の許可を受けた者は、当該許可に係る行為を中止し、廃止し、又は完了したときは、速やかに、風致地区内行為中止・廃止・完了届（第4号様式）を市長に提出しなければならない。

(協議又は通知の手続)

第6条 第2条の規定は、条例第2条第2項の協議又は条例第2条第3項の通知に準用する。

(地位の承継の届出等)

第7条 条例第6条第1項の規定により許可に基づく地位を承継した者は、速やかに、風致地区内行為許可承継届（第5号様式）を市長に提出しなければならない。

2 条例第6条第2項の規定により許可に基づく地位の承継の承認を受けようとする者は、風致地区内行為許可承継承認申請書（第6号様式）を市長に提出しなければならない。

(身分証明書)

第8条 条例第8条第2項の身分を示す証明書は、第7号様式による。

(緑地面積の算定)

第9条 条例別表第3宅地の造成等の項の木竹が保全され、又は適切な植栽が行われる土地の面積は、別表第2区域の欄に掲げる区域ごとに、同表緑化種別の欄に掲げる種別に応じ、それぞれ同表基準面積の欄に掲げる面積に同表換算係数の欄に掲げる係数を乗じて得られる面積の合計とする。

(書類の提出)

第10条 この規則の規定により市長に提出する書類は、正本1通及び写し1通とする。

附 則

この規則は、観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例の施行の日から施行する。

別表第1（第2条関係）

行為の種別	図面等		
	図面等の種類	縮尺	図面等に明示しなければならない事項
建築物その他の 工作物（以下「建 築物等」という。） の新築、増築、改 築又は移転	付近見取図	随意	方位、行為地及び道路、建物その他の 目標となる地物
	配置図	500分の1以上	方位、縮尺、敷地の境界線、敷地内 における建築物等及び木竹の位置、申請 に係る建築物等と他の建築物等との別 並びに敷地に接する道路の位置及び幅 員
	平面図	200分の1以上	方位及び縮尺
	2面以上の立 面図	200分の1以上	方向、縮尺並びに主要部分の材料の種 別、仕上げ方法及び色彩
	断面図	200分の1以上	縮尺、敷地の現況地盤及び設計地盤、 敷地の境界、敷地内における建築物等 及び木竹の位置及び高さ並びに申請に 係る建築物等と他の建築物等との別
	植栽計画図	200分の1以上	方位、縮尺並びに植栽する樹木及び既 存の樹木の位置及び名称
	現況写真	名刺判以上	行為地及びその周辺並びに行為部分の 境界線
建築物等の色彩 の変更	付近見取図	随意	方位、行為地及び道路、建物その他の 目標となる地物
	配置図	500分の1以上	方位、縮尺、敷地の境界線、敷地内 における建築物等及び木竹の位置、色彩 の変更箇所並びに敷地に接する道路の 位置及び幅員
	立面図	200分の1以上	方向、縮尺、主要部分の材料の種別、 仕上げ方法及び色彩並びに色彩の変更 箇所
	現況写真	名刺判以上	行為地及びその周辺並びに行為部分の 境界線
宅地の造成、土地 の開墾その他の 土地の形質の変 更（以下「宅地の 造成等」とい う。）、土石の類 の採取、水面の埋 立て若しくは干 拓又は屋外にお ける土石、廃棄物 若しくは再生資 源（以下「屋外に おける土石等」と いう。）の堆積	付近見取図	随意	方位、行為地及び道路、建物その他の 目標となる地物
	平面図	500分の1以上	方位、縮尺、等高線又は等深線、行為 地の境界線、切土、盛土又は堆積をす る土地の部分及び擁壁、排水施設その 他の附帯工作物
	断面図	500分の1以上	縮尺、現況地表面、設計地表面、法面 ^{のり} 保護又は堆積の方法及び擁壁、排水施 設その他の附帯工作物
	植栽計画図	200分の1以上	方位、縮尺並びに植栽する樹木及び既 存の樹木の位置及び名称
	現況写真	名刺判以上	行為地及びその周辺並びに行為部分の 境界線
	木竹の伐採	付近見取図	随意
	平面図	500分の1以上	方位、縮尺、等高線、行為地及びその 周辺の土地利用の現況、伐採区域並び に伐採樹木の位置及び名称

	植栽計画図	1,200分の1以上	方位、縮尺並びに植栽する樹木及び既存の樹木の位置及び名称
	現況写真	名刺判以上	行為地及びその周辺並びに行為部分の境界線

別表第2（第9条関係）

区域	緑化種別	基準面積	換算係数
主たる道路との境界線からの水平距離が5メートルまでの敷地の区域	高木(樹高が3メートルを超える樹木をいう。以下同じ。)	通常 of 生育をした時の樹冠の水平投影面積	1.44
	生け垣	延長に生け垣高を乗じて得た面積	1.2
	壁面緑化	水平延長に1メートルを乗じて得た面積	1.2
	芝又は屋上緑化	水平投影面積	0.6
	樹木(高木を除く。以下同じ。)	通常 of 生育をした時の樹冠の水平投影面積	1.2
	草本(芝を除く。以下同じ。) 又は庭園内の池、庭石若しくはこれらに類するもの	水平投影面積	1.2
その他の敷地の区域	高木	通常 of 生育をした時の樹冠の水平投影面積	1.2
	生け垣	延長に生け垣高を乗じて得た面積	1
	壁面緑化	水平延長に1メートルを乗じて得た面積	1
	芝又は屋上緑化	水平投影面積	0.5
	樹木	通常 of 生育をした時の樹冠の水平投影面積	1
	草本又は庭園内の池、庭石若しくはこれらに類するもの	水平投影面積	1

第1号様式（第2条関係）

風致地区内行為許可申請書

年 月 日

観音寺市長 様

申請者 住 所

氏 名

〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話番号（ ） —

観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項の規定により風致地区内における行為の許可を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

行 為 地	
行為地の地目	
行為の種別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積
行為の目的	
行為の期間	年 月 日から 年 月 日まで

- (注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第2号様式（その1）（第2条関係）

建築物説明書

建築物及び 工種の種別	工 事 の 概 要				敷地の状況
	区分	申 請 部 分	申請以外の部分	合 計	
1 地上に設ける建築物で仮設でないもの (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	
	建築面積	m ²	m ²	m ²	
	建ぺい率			%	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	最高の棟高	m	m		
	壁面最近線	道路境界線 m 隣接境界線 m	m m		
	構造	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()		
	色彩	屋根 外壁	屋根 外壁		
	仕様の概要				
2 地下に設ける建築物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	備 考
	地下占用面積	m ²	m ²	m ²	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
3 仮設の建築物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	敷地の状況
	建築面積	m ²	m ²	m ²	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	最高の棟高	m	m		備 考
	構造	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()		
	色彩	屋根 外壁	屋根 外壁		
	設置期間	年 月 日から 年 月 日まで			
建築士の住所及び氏名	(電話)				
施工責任者の住所及び氏名	(電話)				
<p>(注) 1 「建築物及び工種の種別」の欄は、該当の番号及び符号に○印をつけてください。 2 「工種の概要」の欄中「その他」に該当するときは、() 内に事項を具体的に記入してください。 3 「備考」の欄は、新築、増築、改築又は移転に係る部分が2以上ある場合において、建築面積、延べ床面積等の内訳を記入してください。 4 建築物が、地上部分と地下部分からなる場合には、1と2に分けて記入してください。</p>					

第2号様式（その2）（第2条関係）

工 作 物 説 明 書

工作物及び工種の種別		工 事 の 概 要				工作物の種類及び用途	
		区 分	申 請 部 分	申 請 以 外 の 部 分	合 計		
1 地上に設ける工作物で仮設でないもの (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積		/	/	m ²	備 考	
	規 模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²		
		高 さ	m	m	/		
		その他					
	構 造		(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンクリート造 (カ) その他 ()	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンクリート造 (カ) その他 ()	/		
	色 彩				/		
	仕様の概要				/		
2 地下に設ける工作物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	規 模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	工作物の種類及び用途	
		その他				備 考	
	模						
3 仮設の工作物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	規 模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	備 考	
		高 さ	m	m	/		
		その他					
	構 造		(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンクリート造 (カ) その他 ()	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンクリート造 (カ) その他 ()	/		
	色 彩				/		
	設置期間		年 月 日から 年 月 日まで				
設計者の住所及び氏名		(電話)					
施工責任者の住所及び氏名		(電話)					
<p>(注) 1 「工作物及び工種の種別」の欄は、該当の番号及び符号に○印をつけてください。 2 「規模」の欄中「その他」の欄は長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。 3 「構造」の欄中「その他」に該当するときは、()内に事項を具体的に記入してください。 4 「備考」の欄は、新築、増築、改築又は移転に係る部分が2以上ある場合において、水平投影面積、高さ等の内訳を記入してください。</p>							

第2号様式（その3）（第2条関係）

建築物等の色彩の変更説明書

建築物等の種類	
色彩の変更箇所	
色彩の変更部分の面積	
現在の色彩	
変更後の色彩	
仕様の概要	
風致の維持のための措置	
施工責任者の住所及び氏名	(電話)
備考	

第2号様式（その4）（第2条関係）

宅地の造成等
土石の類の採取
水面の埋立て又は干拓
屋外における土石等の堆積

説明書

1 宅地の造成等	行為地の現況		土地の形質変更面積		m ²	木竹の伐採の有無	
			移動土量	切土	m ³		
				盛土	m ³		
				客土	m ³		
	その他()		m ³	備考			
	隣接地の現況		生ずる法面の最高の高さ		m		
緑地率			%				
跡地の処理方法							
施工責任者の住所及び氏名			(電話)				
2 土石の類の採取	行為地の現況		採取面積		m ²	木竹の伐採の有無	
			採取土石類の種類				
			採取量		m ³		
	隣接地の現況		採取方法		(ア) 横坑掘 (イ) たて坑掘 (ウ) 斜坑掘 (エ) その他 ()	備考	
			跡地の処理方法				
施工責任者の住所及び氏名			(電話)				
3 水面の埋立て又は干拓	水面面積	m ²	工事方法		備考		
	埋立て又は干拓面積	m ²					
	隣接地の現況		跡地の処理方法				
施工責任者の住所及び氏名			(電話)				
4 屋外における土石等の堆積	行為地の現況		堆積面積		m ²	木竹の伐採の有無	
			堆積物の種類(細分類)		(ア) 土石 (イ) 廃棄物 (ウ) 再生資源 ()		
	隣接地の現況		堆積量		m ³	備考	
			堆積物の最高の高さ		m		
			跡地の処理方法				
施工責任者の住所及び氏名			(電話)				
<p>(注) 1 1、2、3及び4の行為のうち、該当する行為に○印を付けてください。</p> <p>2 「行為地の現況」及び「隣接地の現況」の欄は、建物の敷地の内外の別、林地、伐採跡地、草地等の別、木竹、建物その他の工作物の有無等を記入してください。</p> <p>3 「移動土量」の欄の「その他」に該当するときは、()にその内容を具体的に記入してください。</p> <p>4 「緑地率」とは、緑地面積の敷地面積に対する割合をいいます。</p> <p>5 「緑地率」の欄は、算出結果を記入し、「備考」の欄又は植栽計画図等にその算出根拠を記入してください。</p> <p>6 「跡地の処理方法」の欄は、埋め戻し、植栽等のほか、法面についても、芝付きコンクリートブロック擁壁、放置等具体的に記入してください。</p> <p>7 「採取方法」の欄の「その他」に該当するときは、()にその内容を具体的に記入してください。</p>							

第2号様式（その5）（第2条関係）

木竹の伐採説明書

1 森林地内の伐採	林相	(ア) 針葉樹林 (イ) 広葉樹林 (ウ) 針広混交樹林 (エ) 竹林	伐採面積	m ²		跡地の処理方法	
			伐採量	m ³			
	林齢		伐採方法	(ア) 皆伐 (イ) 択伐 (択伐率 %)		備考	
	疎密度						
	隣接地の現況			伐採木竹	樹種名		
平均樹齢							
平均樹高					m		
2 森林地外の伐採	(1) 集団をなす木竹の場合	隣接地の現況		伐採面積	m ²		跡地の処理方法
				伐採量	m ³		
				伐採方法	(ア) 皆伐 (イ) 択伐 (択伐率 %)		備考
				伐採木竹	樹種名		
	平均樹齢						
	平均樹高	m					
	(2) 独立のし場た木	隣接地の現況		樹種名	樹齢	樹高	胸高直径
					m	m	
施工責任者の住所及び氏名							
		(電話)					
<p>(注) 1 該当番号及び符号に○印をつけてください。 2 「疎密度」の欄は、樹冠投影面積の10分比で表わして下さい。 3 「隣接地の現況」の欄は、土地の状況、木竹、建築物その他の工作物の有無及びその種類等を記入してください。 4 「択伐率」は伐採区域における総材量に対する択伐量をいう。 5 「跡地処理方法」の欄は、植栽、放置等を記入してください。 6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径で、双幹以上のものは各幹直径の合計の70パーセントを探り、1.3メートルのところは枝の分れ目のときは、すぐ上部の寸法を採用してください。</p>							

第3号様式（第4条関係）

風致地区内行為許可標識	
許可年月日 及び番号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の 住所及び氏名	
行為の種別	
行為の場所	
施工の期間	年 月 日から 年 月 日まで

- (注) 1 許可標識の大きさは、縦30センチメートル以上、横50センチメートル以上とします。
- 2 「許可を受けた者の住所及び氏名」の欄は、法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記載してください。
- 3 「行為の種別」の欄は、観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項各号に掲げる行為の種別を基準として、その内容を具体的に記載してください。

第4号様式（第5条関係）

風致地区内行為
中止
廃止
完了

届

年 月 日

観音寺市長 様

申請者 住 所

氏 名

〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話番号（ ） —

中止
風致地区内における行為を 廃止 したので、観音寺市風致地区内における建築等の規
完了

制に関する条例施行規則第5条の規定により次のとおり届け出ます。

許 可 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日 第 号
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積
中 止 廃 止 年 月 日 完 了	年 月 日

(注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第5号様式（第7条関係）

風致地区内行為許可承継届

年 月 日

観音寺市長 様

申請者 住 所

氏 名

〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話番号（ ） -

観音寺市風致地区内における建築物等の規制に関する条例第6条第1項の規定により、
風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したので、次のとおり届け出ます。

許 可 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の 住所及び氏名 (法人にあつて は、主たる事務 所の所在地、名 称及び代表者の 氏名)	
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積
承 継 年 月 日	年 月 日
承 継 の 原 因	

(注)「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

風致地区内行為許可承継承認申請書

年 月 日

観音寺市長 様

申請者 住 所

氏 名

〔 法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話番号（ ） ー

観音寺市風致地区内における建築物等の規制に関する条例第6条第2項の規定により風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したいので、次のとおり申請します。

許可年月日 及び番号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の住所及び氏名 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積
承継申請の理由 となる事実	
上記事実の発生 年 月 日	年 月 日
行為及び行為地の 現 況	
許可に付された 条 件	

- (注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第7号様式（第8条関係）

（表）

第 号
身 分 証 明 書
所 属
職 名
氏 名
年 月 日生
上記の者は、観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例第8条第1項の規定により、風致地区内の土地又は建物内に立ち入ることができる者であることを証明する。
年 月 日
観音寺市長 印

（裏）

観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例（抄）
第8条 市長又はその命じた者若しくは委任した者は、前条の規定による権限を行なうため必要がある場合においては、当該土地に立ち入り、当該土地若しくは当該土地にある物件又は当該土地において行なわれている工事の状況を検査することができる。
2 前項の規定により他人の土地に立ち入ろうとする者は、その身分を示す証明書を携帯しなければならない。
3 前項に規定する証明書は、関係人の請求があったときは、これを提示しなければならない。
4 第1項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。